

活動  
報告

くずまき観光地域づくり協議会

# くずまき型DMO



△高野さんのアイデアを取り入れてレイアウトを変更したパンハウスくずまきの店内▷地域づくり人材活動事例発表会の様子

## 移住・交流検討部会

### 町民と移住者の視点に立った 取り組みを提案

移住・交流検討部会では、町の交流人口の拡大や移住者の増加、移住定住の促進を目的に、移住者向けガイドブックの作成や移住体験ツアーなどに取り組んでいます。

## 地域づくり人材活動事例発表会

本町で活躍する2人が活動紹介

岩手県主催の地域づくり人材活動事例発表会は1月30日、盛岡市のマリオスで開催され、本町から地域おこし協力隊の高野嘉明さん(44歳、小田)とくずまき観光地域づくり協議会(くずまき型DMO)移住・交流検討部会の南館則江さん(38歳、小屋瀬)がそれぞれの活動を発表しました。

### 前職の経験生かして 店内レイアウト変更

高野さんは大手コンビニエンスストアでの職歴を生かし、くずまき高原牧場のパンハウスの売り場づくりに取り組んだ経験を発表。客単価を上げることを意識して、店内のレイアウトや商品の配置などを見直し、売り上げの増加を図る取り組みを紹介しました。高野さんは「牧場スタッフから売り上げを伸ばしたいとの相談を受けたことが店内のレイアウトを変えるきっかけでした。これから現場スタッフと協力して

自分の知識や経験を生かしていきたい」と意欲を語り、参加者の興味を誘っていました。

### ガイドブック&体験ツアー 住民一体の取り組みを発表

南館さんは地域住民が一体になって活動する移住・交流検討部会の取り組みを紹介。地域住民や町へ移住した人の意見を取り込みながら作成した「くずまき暮らしのガイド」の完成までの経緯や「移住体験ツアー」の事例を発表しました。

参加者からは「さまざまなたたかみの町民の皆さんが、移住定住の事業に関わり、これだけの取り組みをボランティアで行っていることに驚いた」といった感想が寄せられました。地域づくりはそこに住む人たちが主役です。さまざまな活動を自主的に行うことで、地域や町が活気づきます。今後とも皆さまのご協力をお願いいたします。

移住・交流検討部会では2月9日と10日の2日間、「くずまき暮らし体験ツアー」を行いました。

県外から町への移住を希望する人を対象に、実際に町を訪れ気候や風土を体感し、地域の人たちと交流しながらくずまき暮らしのイメージを膨らませてもらうことが目的です。

今回のツアーには東京都から5人が参加し、町内の農家などに宿泊。くずまき高原牧場のスノーワングラウンドなどで子どもたちの宿泊を受け入れている「くずまき高原グリーンツーリズム推進協議会」(藤森雅美会長)の皆さんに宿泊の受け入れなどを協力してもらいました。

### くずまき暮らしを満喫 酪農と林業に興味示す

参加者たちはそれぞれの宿泊先で、そばやひつつみといった郷土料理作りを体験したり、牛のえさやりなど酪農にもふれました。

また、スノーシューで雪山を散策した人もおり、冬ならではの楽しみ方を伝えることで、冬期間の実際の暮らしをより具体的に感じることができたようでした。

2日目には総合センターで「お仕事セミナー」を開催。町内の事業者や団体が参加し、それぞれの仕事内容などを紹介したほか、町



新町地区の町家でツアー企画の内容を相談した会議の様子

## 鶴木優悟隊員の活動報告

### くずまきの冬を体感中

vol.16



こんにちは、地域おこし協力隊の鶴木です。移住して2度目の葛巻の冬を皆さまにアドバイスをいただき、準備万全で臨みました。そのおかげで仕事(観光イベント)もさることながら、おもいっきり冬を楽しむことができました! くずまき高原牧場冬まつりでは、雪中綱引き大会に参加。強豪相手に仲間と協力して戦いました。そしてイグルー作りや雪上ファットバイク体験もしました。雪資源を活用した遊びって、こんなにたくさんあるんですね。美しい雪景色を見ることはとても良いのですが、童心にかえって遊ぶのはまた最高でした!そして、森のこだま館で開催された冬の星空観察会。「冬は空気が澄んでいて、とてもキレイだろうな…」とは思っていましたが、当日は快晴でスバルやオリオン星団など、この季

節にしか見ることができない、ありとあらゆる星を眺めることができました。感動! とにかく冬のくずまきの可能性を最大限に感じることでできた2月でした。3月3日まで #らぶ♡くずまき フォトコンテストを開催中。ワインか山ぶどうジュースが当たるので、参加してみてくださいね。



△イグルー作りの様子△雪上ファットバイク体験で冬を満喫する鶴木さん

が推進する起業への取り組みについてもPRしました。参加者たちは町の基幹産業の中でも酪農や林業といった葛巻ならではの仕事に興味を示し、盛んに質問。より具体的な仕事の内容を知ろうとする姿に関心の高さがうかがえました。同ツアーはこれまでに4回開催し、延べ29人が本町を訪れました。ツアーをきっかけに1人が移住、17人が移住に向けて具体的な相談を継続しています。また、ツアーをきっかけに首都圏で開催される町に関連した物産イベントなどに参加する人も見られるなど交流人口の拡大にも一定の効果を感じています。

### 地域密着の懸け橋 暮らしの充実図る

移住する人が地域になじみ定住するためには、共通の趣味を持つ仲間を見つけたり、スポーツや文化、自治会活動などに参加し、暮らしの楽しみや生きがいを見つけることが重要なポイントになります。そのため部会では、移住者の定住支援として生活情報をまとめた「くずまき暮らしのガイド」を作成し、内容の充実を図りながら移住者の暮らしをサポートしています。今後はより一層、町民と移住する人とのつなぎ役として地域に密着した活動をしなが、未来への懸け橋になる仲間を増やしていきたいと考えています。



ツアー参加者に小田地区に移住後の暮らしぶりについて語る新妻浩三さん、昌代さん夫妻